

地方議会の議事録を 活用した取り組み

神戸松蔭女子学院大学／言語科学研究所
田附 敏尚

2024/03/15 (金)

言語処理学会第30回年次大会(NLP2024)

於：神戸国際会議場 B会場 (国際会議室)



はじめに

※おことわり（言い訳）

- これからのお話は、「自治体」「生成AI」と直接的にはかかわりません。
- 自治体が作った「地方議会会議録」を対象に、言語処理研究者が構築したシステムを使って、社会言語学（方言学を含む）研究者が行っている研究の話です。
- つまり、隣接領域でこんなことやってるよ、という話。
⇒ 今後「自治体」「生成AI」と繋がっていただけたらいいですね。

地方議会会議録を用いた 社会言語学的研究



地方議会会議録を用いた 社会言語学的研究

➤自己紹介

- 田附 敏尚（たつき としひさ）、青森県出身。
- 専門は方言学・日本語学。津軽方言の文法・意味記述。
 - 言語処理学会に足を運ぶとは！
- 地方議会会議録を用いた社会言語学的研究のグループに地域方言研究者として参加することで、言語処理研究者と多少の縁を持つことに。
 - 当然、自然言語処理に関しては素人です。

地方議会会議録を用いた 社会言語学的研究

- 以下の科研の分担をしています（いました）。
- 地方議会議事録の社会言語学的研究 -バリエーション研究の事例として-（基盤研究(C) 25370536）
- 地方議会による「会議録方言学」の研究（基盤研究(C)18K00632）
- 地方議会会議録の発展的研究（基盤研究(C) 22K00582）
 - このような研究において、言語研究班と情報処理班（高丸圭一氏、乙武北斗氏、木村泰知氏、内田ゆず氏）が共同研究。

地方議会会議録を用いた 社会言語学的研究

➤ 地方議会会議録を用いて、
例えば以下のような研究をしています。

- 「スタイル（文体）」研究
- 「気づかない方言」研究

地方議会会議録を用いた 社会言語学的研究

- 「スタイル（文体）」研究

→ くだけた話し言葉（カジュアル）でも
改まった話し言葉（フォーマル）でもない、
セミフォーマルな文体の存在を提唱。

地方議会会議録を用いた 社会言語学的研究

・「スタイル（文体）」研究

福岡県議会・セミフォーマルの例：

方言と共通語の敬語が
入り混じっている

(1) 本当**ですばい**。それ**けん**、一番大事なのは、それならもうなくなるよと言ったらどうだろうと思**います**。（中略）私もその卒業生の一人として一生懸命やり**ますけん**、教育長さんも今度はかわ**らっしゃるばってん**、ちゃんと引き継いで、あそこにちゃんと後の方もお**られる**よう**です**から、しっかり頑張って**いただく**ことをお願い**申し上げ**まして、大変失礼**いたしました**けれども、私の質問を終わらせて**いただきます**。

（2014年3月、予算特別委員会、IS議員、77歳）

地方議会会議録を用いた 社会言語学的研究

・「スタイル（文体）」研究

- くだけた話し言葉（カジュアル）でも改まった話し言葉（フォーマル）でもない、**セミフォーマル**な文体の存在を提唱。
- 議会という場面が決まっているため、普段取りにくい「少し丁寧な」方言のデータを狙って取れる。
- しかも統一条件による全国比較も可能。

地方議会会議録を用いた 社会言語学的研究

- 「気づかない方言」研究

☞ 気づかない方言とは？

→ 使用地域が限られた言い方であるにもかかわらず、
そのような地域差に気づかれていないもの。

例えば「補助輪付き自転車」は何と言いますか？

図5 「補助輪付き自転車」
〈全年層〉

100 69 29
~70 ~30 ~10 (%)

- ● ● コマツキ
- ◐ ◑ ◒ コロツキ
- ◓ ◔ ◕ ゴロツキ
- ◖ ◗ ◘ ハマツキ

篠崎晃一(1996)「気づかない方言と新しい地域差」
小林隆・篠崎晃一・大西拓一郎編『方言の現在』明治書院, p.152より



地方議会会議録を用いた 社会言語学的研究

- 「気づかない方言」研究

→ 具体的に調べた例：東北地方の「**そうすれば**」

地方議会会議録を用いた 社会言語学的研究

従属節的「そうすれば」
共通語と同じ用法

・「気づかない方言」研究

(2)ですから、今、市内に千六百、七百人ぐらいの小学校3年生が
確かいるはずなのです。この方々に配布していただいて、でき
れば1年に1回でも2回でもいいですから、親御さんと一緒に見
学に行っていて、**そうすれば**共通の何か感じるものがある
と思うのです。

(弘前市議会、2006年6月、本会議、TM議員)

地方議会会議録を用いた 社会言語学的研究

接続詞的「そうすれば」
方言独自の用法
= そうすると、では

・「気づかない方言」研究

(3) **そうすれば**、副市長さんに参考としてお尋ね申し上げたいんですけども、来年の23年度の予算編成ありますよね。もうじきかかると思うんですよ。

(秋田市議会、2010年9月、本会議、HK議員)

(4) (議長の「18番」という呼びかけの直後) 議長に確認いたしますけれども、予算特別委員会の設置で言葉は終わったのですね。
そうすれば、私、ちょっと議事進行させていただきます。

(弘前市議会、2010年12月、本会議、SS議員)

北東北	青森		秋田		岩手	
従属節的	12	16.7%	19	13.8%	34	54.0%
接続詞的	60	83.3%	117	84.8%	28	44.4%
不明／その他	0	0.0%	2	1.4%	1	1.6%
計	72	100%	138	100%	63	100%

※各地、県議会と県庁所在地の市議会を検索したものの合計。 ※青森と秋田は2010年のみ、他は2008～2012年の5年間の数値。

南東北	宮城		山形		福島	
従属節的	106	80.3%	26	83.9%	8	88.9%
接続詞的	25	18.9%	5	16.1%	1	11.1%
不明／その他	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
計	132	100%	31	100%	9	100%

北東北のほうが、より接続詞的
「そうすれば」を用いている

地方議会会議録を用いた 社会言語学的研究

・「気づかない方言」研究

→ 具体的に調べた例：東北地方の「**そうすれば**」

→ これまで青森・秋田で確認されていたが、他の県にもあるのかは未知だった。

→ 地方議会会議録を用いることで、気づかない方言の地理的広がりも確認できる。

⇒ ちなみに、このような「気づかない方言」は生成AIで（あるいはひろく自然言語処理でも）発見できる？

地方議会会議録を用いた研究 —情報処理班とのやりとりと成果—



地方議会会議録を用いた研究 —情報処理班とのやりとりと成果—

• 「ぎ～みる」

木村泰知氏が代表の科研において
乙武北斗氏がシステム構築を担当し制作された
47都道府県（および東京23区）会議録検索システム。

（詳しくは地方議会会議録コーパスプロジェクト <http://local-politics.jp/> 参照）

→ 発言マップ検索楽しい！

→ 句読点も検索できてありがたい。
（言語研究班とのやりとりで実装）

都道府県議会会議録検索システム
(2015-2019)
「わ」検索結果 343,608件

都道府県議会会議録検索システム
(2015-2019)
「わ。」検索結果 145件

おわりに

- 今回のお話、少しでも興味を持っていただけたら幸いです。
→ 今後、「自治体」「生成AI」とより密接に繋がっていきたくらいですね。
- なお、この研究には神戸松蔭女子学院大学の言語科学研究所から私だけではなく松田謙次郎氏も参加。
- 他にも、本研究所には言語学、英語学、日本語教育学など、さまざまな研究者が集っています。
→ こちらもいろいろなところと連携できたら楽しそうですね。

参考文献

- 篠崎晃一(1996)「気づかない方言と新しい地域差」
小林隆・篠崎晃一・大西拓一郎編『方言の現在』明治書院, pp.145-156
- 二階堂整・川瀬卓・高丸圭一・田附敏尚・松田謙次郎(2015)「地方議会会議録による方言研究—セミフォーマルと気づかない方言—」『方言の研究』1, pp.299-324
- 「地方議会会議録コーパスプロジェクト」 <http://local-politics.jp/>
<2024/03/15アクセス>

※本発表はJSPS科研費 JP18K00632, JP22K00582の助成を受けたものです。